日光さぼう

発行･連絡先／国土交通省関東地方整備局　日光砂防事務所

〒321－1414　栃木県日光市萩垣面2390　TEL0288－54－1191

http://www.ktr.mlit.go.jp/nikko/

平成29(2017)年

9月 発行

（vol. 9）

第2回「山の日」記念全国大会 in 那須 2017

平成29年8月11日、第2回「山の日」記念全国大会の歓迎フェスティバルが余笹川ふれあい公園で行われました。日光砂防事務所と栃木県砂防水資源課の合同で、パネルの展示や模型による砂防えん堤の土石流対策効果などの実演を行いました。

また、降雨体験車による豪雨（最大300mm/h）及び強風体験には、延べ159名の方が参加しました。風水害に対するそなえの必要性を実感していただけたのではないかと思います。

パネル展示

降雨体験車

模型の実演は、砂防えん堤による土石流対策、アンカー工による地すべり対策、法枠工によるがけ崩れ対策の3タイプ、子ども達に大人気でした！

お知らせ

■日光砂防事務所のイベント■

- ・9月　2日～9月3日　　第18回日光ツーデーウォーク
- ・9月　6日　　平成29年度 施工技術研修（監督･検査）
- ・9月15日　　平成29年度　総合地震防災訓練
- ・10月14日　　日光けっこうフェスティバル2017

日光砂防祭

平成29年8月21日（月）10時30分より栃木県日光市所野において、日光砂防祭実行委員会（会長・日光市長）主催の第45回目となる日光砂防祭が行われました。

式典には国土交通大臣政務官の梁和生衆議院議員と高橋克法参議院議員、水管理・国土保全局砂防部長、関東整備局長、栃木県副知事、日光市長ほか、関係者約60名が参列しました。簗政務官は、冒頭の挨拶で我が国の厳しい自然条件や平成29年7月九州北部豪雨に触れ、「ハードソフト両面からなる土砂災害対策を一層強化していく」と述べられました。高橋政務官は、日光市における土砂災害の歴史に触れ、「国際的な観光地である日光の暮らしや文化遺産を守っていくとともに砂防行政の一層の強化に取り組んでいく」旨述べられました。

〇日光砂防祭とは

日光地域における土砂災害による犠牲者と砂防工事殉職者への慰霊、砂防事業に従事し貢献した先人への感謝の意を顕し、砂防事業の一層の推進を祈念して、毎年8月21日に開催される慰霊祭です。

簗大臣政務官

高橋大臣政務官

斎藤文夫日光市長

「キャンプ砂防2017in日光」開催しました！

8月28日（月）から9月1日（金）まで、宇都宮大学から１名、日本大学から３名の計４名の学生が参加し、「キャンプ砂防2017in日光」を開催しました。

「キャンプ砂防」とは、「砂防」を専攻する大学生等を対象に、「砂防」の意義・役割について学ぶ場を提供し、「砂防」に対する認識を深めてもらうことを目的として、平成８年度から全国の国土交通省砂防関係事務所において開催しています。

今年は、「もう一つの日光　～雄大な自然に隠された災害の歴史～」をテーマに、様々なカリキュラムを用意しました。

始めに、男体山や稲荷川の崩壊地にて現地調査をおこない、日光の地形や地質等の特性について学びました。

続いて、日光市文化財課より講師を招き、「日光の歴史と文化財」について講義を受け、世界遺産「日光の社寺」と日光の山々には歴史的に深い関わりがあることや世界遺産登録に至るまでの経緯について学びました。

さらには、工事中の施工現場において、「砂防ソイルセメント試験」や「残存型枠の施工方法」等を体験するとともに、施工業者の若い技術者と「土木」や「砂防」の魅力について意見交換を行いました。学生からは、「日光の世界遺産や自然環境を守るために、砂防事業は大きな役割を果たしている」、「砂防事業は目立たない事業だが、土砂災害から住民の生命や財産を守る重要な事業」等の感想がありました。

現地調査「稲荷川崩壊地」

講話「日光の歴史と文化財」

体験「社宅裏沢砂防堰堤工事」